

広告 企画・制作: 読売新聞社広告局



「学生の心に火をつける」キーワードに 一人ひとりの成長と実績の就職力99.1%



学長 中山 峰男氏

崇城大学は、産業革命以来の大変革といわれる高度情報化社会をリードし、新時代を創造する若者の育成に力を注ぐ。現場に即した課題をもとにアクティブラーニングを繰り返し、英語力を鍛え、情報学部情報学科を中心に日々進歩する情報・IT分野での知見を深めている。航空業界の期待を集めるエアラインパイロット養成や起業家教育でも次々に成果が生まれる「学生が成長する大学」だ。

して企業側と学生の接触機会を増やし、キャリアカウンセラーが全学生と個別面談してサポートするなど地道な努力が形になって表れている。中山学長は「何よりも、卒業生たちが社会人となって活躍し高い評価を受けていることが一番の理由ではないか」と考えている。新型コロナウイルス感染拡大の余波は就職事情にも及びそうだが、中山学長はリーマンショック当時の就職の危機に教職員が、就職先開拓に奔走し大成功した経験を踏まえて「教職員が一丸となって対策を講じていく」と力強く話した。

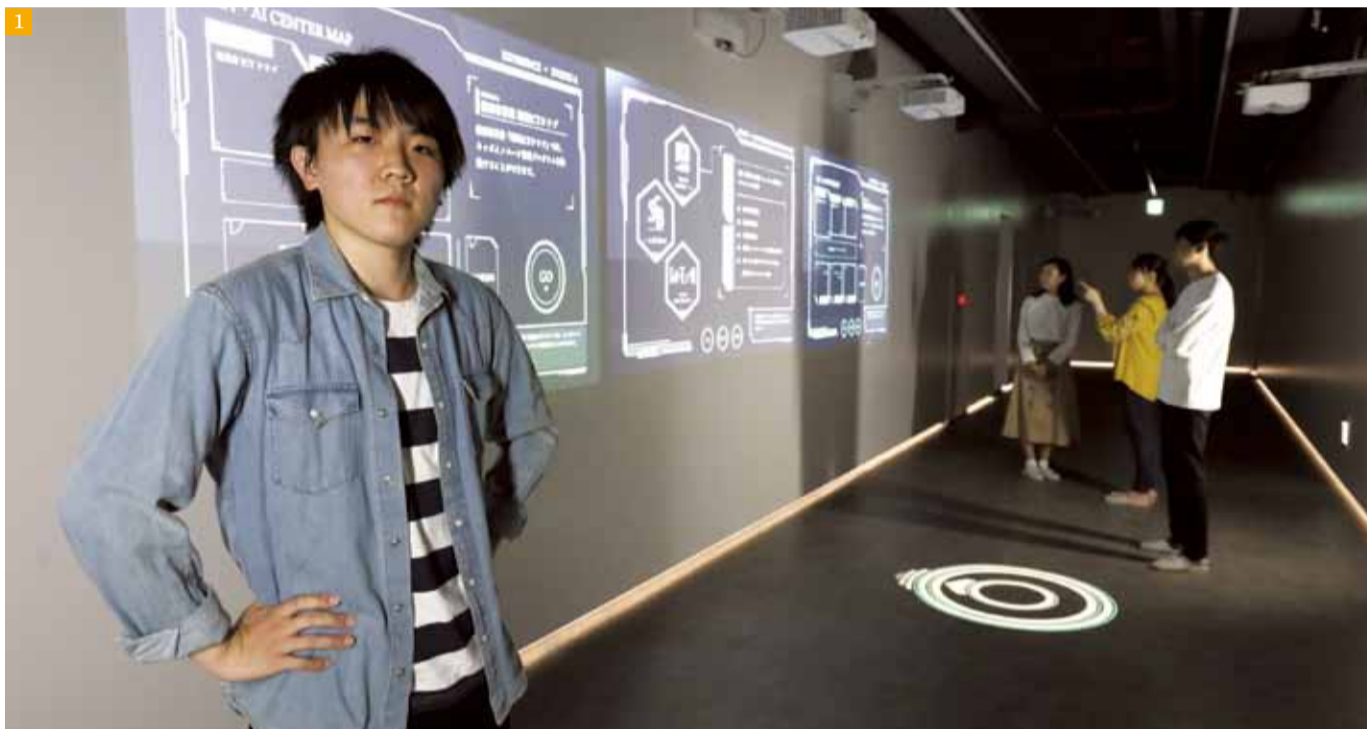
社会の変容に対応する 学生の主体性を育む

中山峰男学長は「多くの学生が良い大学に入学する事が目的となり、各人が持っていたはずの将来の夢、やりたいことを忘れてしまっている」と指摘する。「学生一人ひとりのポテンシャルを引き出し、社会に送り出していくこと。私たち教職員は、そこに導く努力を惜しみません」と話す。

「自分は何が好きか」「好きな事にどう取り組むか」を気付かせる独自の教育プログラムを用意している。1年次の「SOJO基礎I」の学科研究では、スタートは自分の学科でチームを作り、与えられた課題でプレゼンを行う。ステップが進むにつれてより実践的な内容になるように、企業から課題を出してもらい、異なる学科の混合チームでアイデアを出し合っその企業にプレゼンを行う。学年が進むにつれて専門性が増していき、より実社会での課題解決に即した学びとなっている。

課題提供には機械、化学薬品、建設、ソフトウェアなど多くの企業が協力している。各分野で解決が望まれている切実な問題も多く、企業側が若者の柔らかな発想に興味を抱いていることが感じられる。さらに課外活動では、ロボット、エコ電・フォーミュラカーなどを企画製作してものづくりの現場体験をする。

ICT(情報通信技術)の発展と、今回の新型コロナウイルスの一件で、社会は急激な変容を見せている。5G、人工知能(AI)などの革新技術は未知の課題も突きつけてくるだろう。自ら問題点を見つけ、課題解決に取り組む主体性を持ち、専門技術を身に着けた若者でなければ時代は切り開けないと中山学長は指摘する。「明治維新を成し遂げたのは、海外体験をした若者たちだったように、今の学生たちが新しい価値観や社会を構築し、未来を切り開くのです」と期待している。



1 第4次産業革命(インダストリー4.0)の中核技術であるIoT・AI・P2Pなどの実践的な学びの場を提供。企業や自治体との連携によって、イノベーションを創発できる人材を育成しています
2 SILC(シルク、英語学習施設 SOJO International Learning Center)で学生をサポートする外国人講師陣
3 間近で大型ジェット機が離着陸する空港キャンパス。最高の訓練環境で、将来のエアラインを担う人材を育成



緊急事態宣言が出された新型コロナウイルスの感染拡大。崇城大学では5月半ばから全学生に対して遠隔授業を実施した。今週の活動と新聞やWEBをみて自分なりのトップニュースなどの課題・宿題とともに、食事をしたか、睡眠時間、コメントなどを提出し、教員も一人ひとりにコメントを返す形でコミュニケーションを取っており順調に進んでいる。パソコンスキル向上には個人で所有する必要があるので、2012年から学費を下げ、学生全員がノートパソコンを購入し、授業

に活用して全員がパソコンに習熟していたのが大きな力となった。

学内で生きた英語を 学習できるSILC

生きた英語を身に着ける教育にも力を注いでいる。16か国・地域35校と提携した海外留学プログラムと並ぶ柱が多数の外国人講師がサポートする英語学習施設「SILC(シルク)」。その中でも学生の習熟度に応じて教育プログラム

を提供する自律学修センター「SALC(サルク)」では外国人講師のマンツーマン指導も受けられ、エアラインパイロット志望など多くの学生にとってなくてはならない場所となっている。

6年連続99%以上の 就職率の秘訣

2015年から6年連続で99%以上の高い就職率を誇っている。多数の企業が参加する学内合同企業説明会を開催

「IoT・AIセンター」で 最新の情報教育を実践

4月に情報学部情報学科が3コースに再編された。AIなどを駆使して未知の情報課題に対応できる学生を育てる「未来情報コース」、ソフトウェアを中心に学ぶ「知能情報コース」と、これらを支えるハードウェアを専門とする「電子通信コース」だ。ICTが進むにつれ情報分野の重要性が再認識されており、全学部の学生に「情報処理」と「AI」に関する科目を必修とすることが決まっている。新たに誕生した「IoT・AIセンター」ではすべてのモノがインターネットにつながるIoTサービスの開発を目指すと同時に顔認証、センサーでの在庫管理、モーションキャプチャなどを展示紹介し、情報を処理することで何が出来るかを学生に見える形で理解してもらう。

学内一貫教育によるパイロット育成

エアラインパイロットと航空整備士を育成する工学部宇宙航空システム工学科航空操縦学専攻、同航空整備学専攻があるのも特長のひとつ。訓練を学内で一貫して行っているのは国内では崇城大学だけで、熊本空港に単発機11機、双発機3機を保有しており、2年次後期から熊本空港キャンパス寮に入り訓練を受ける。エアラインパイロットはあと10年ほどで多くが定年で退職するとされており、若手パイロットの育成は急務だ。国や航空会社の期待は大きく、JAL、ANA、スカイマークをはじめ、多くの航空会社に採用実績がある。

学部・大学院情報
○学部 薬学部、生物生命学部、工学部、情報学部、芸術学部
○大学院 工学研究科、芸術研究科、薬学研究科

WEB オープンキャンパス 2020

私たち入試課スタッフが、あなたの疑問にお応えします!

LINEで 友だちになろう! 友だち登録ですべての情報をGET!

崇城大学 SOJO UNIVERSITY

5学部10学科。 学びたいテーマがきっとある。

薬学部	生物生命学部	工学部	情報学部	芸術学部				
薬学	応用微生物工学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学	宇宙航空システム工学科	情報学	美術学	デザイン学

就職率

6年連続

99%以上

※2014年度～2019年度卒業生実績
※就職率の分母は就職希望者 就職希望者564名 就職者559名